

ジュネーブ協会総会、新理事 4 名を任命、UNEP-FI の「持続可能な保険に関する原則」の支援機関となり、サステナビリティを保険業界の最重要課題と強調

チューリッヒ

2022 年 6 月 7 日/PRNewswire/-- 先週開催されたジュネーブ協会の 2022 年総会を受け、同協会は 2 つの重要な進展を発表致します。

- 理事会に 4 人の新メンバーが選出されました。Aegon の CEO Lard Friese、中国人民保険会社会長 Xi LUO、日本生命保険相互会社社長清水 博、AIG 会長兼 CEO Peter Zaffino。
- ジュネーブ協会が国連環境計画・金融イニシアティブ (UNEP-FI) の「持続可能な保険原則 (PSI)」に参加。

ジュネーブ協会の第 49 回総会は、6 月 2~3 日にイタリアのベニスで開催され、世界の保険会社の CEO57 人が集まりました。「より持続可能な未来への架け橋」と題されたこの総会では、気候変動から経済変動に至るまで、世界的な課題が保険業界にどのような影響を与えているのか、また保険会社がこれらの危機を乗り越えるためにどのように社会をサポートすれば良いのかが議論されました。

COVID-19 の大流行やウクライナ戦争といった最近の衝撃は、保険会社がその ESG 取組の効果が最大化するよう努めるきっかけとなりました。総会の議論では、保険会社にとって、次のことが強調されました。

- ・ 緩和策と適応策を組み合わせ、リスク軽減を図るインセンティブを与え、保険による災害救済を提供することにより、**気候変動に対する適応力を高めること。**
- ・ 保険引受、投資、オペレーションにおいて、環境だけでなく**社会的なサステナビリティを推進すること。**
- ・ より多くの人々、特に最も脆弱な状況にある人々が保険にアクセスできるよう、**保障の格差解消に取り組むこと。**
- ・ 革新的な商品と

サービスを通じて、個人の身体的、精神的、経済的なウェルビーイングを促進すること。

ジュネーブ協会会長で Swiss Re の CEO Christian Mumenthaler は、次のように述べています。「総会での議論から、地政学的緊張、経済変動、社会的不平等、気候変動が、私たち全員にとって重要な懸念事項であることが明らかになりました。ジュネーブ協会が UNEP-FI の「持続可能な保険原則」の支援機関となったことを喜ばしく思うとともに、これによりサステナビリティ (E、S、G) が保険業界の中心課題であることがより明確になったことを嬉しく思います。

また、Lard Friese、Xi LUO、清水博、Peter Zaffino をジュネーブ協会理事会に温かくお迎えしたいと思います。欧州、中国、日本、米国の代表である彼らの意見は、私たちの議題が世界中の保険会社の優先課題を確実に捉える上で、非常に重要なものとなるでしょう」。

ジュネーブ協会のマネージング・ディレクターJad Ariss は次のようにコメントしています。「私たちが直面している課題に対しては、業界や社会が協力して考え、行動する必要があります。今回の年次総会は、世界中のメンバーである 57 名の CEO が、特に社会的・環境的な目標についての考えの足並みを揃えるよい機会となりました。サステナビリティは、今日、保険会社やその顧客にとって明らかに重要な優先事項です。UNEP-FI PSI の支援機関になったことを誇りに思います。

ジュネーブ協会は、保険会社の唯一の世界的な協会であり、保険および再保険の CEO が会員となっています。ジュネーブ協会は、会員企業、学術機関、多国間組織との協力による厳密な調査に基づいて、保険業界に影響を与える可能性のある主要なリスク分野を調査し、提言を作成し、関係者が議論するための場を提供しています。ジュネーブ協会の会員企業は、世界 26 カ国に本社を置き、21 兆米ドルの資産を管理し、250 万人以上の社員で 26 億人の人々を守っています。

<https://www.genevaassociation.org/news/press-releases/new-board-members-PSI-june-2022>

連絡先：ジュネーブ協会ディレクターコミュニケーション、

Pamela Corn : +41 44 200 49 96、

pamela_corn@genevaassociation.org